



## デイリー・ジーザス・ニュース #329

金曜日... 苦悩と贖罪の日

イエスは園の墓に埋葬される

イエスはヨセフの新しい園の墓に埋葬される

ヨハネ19:39-42 ( 並行テキスト : マタイ27:59-60、マルコ15:46、ルカ22:53-54 )

=====

39 <sup>M</sup>そこでヨセフは遺体を取り下ろした。J以前、夜中にイエスを訪ねたニコデモも同行していた。ニコデモは没薬とアロエを混ぜ合わせたものを約75キログラム持って来た。40 二人はイエスの遺体を取り下ろし、香料と一緒に清潔な亜麻布で包んだ。これはユダヤ人の埋葬の慣習に従ったものであった。

41 イエスが十字架につけられた場所には園があり、そこにはヨセフが岩を掘って作った新しい墓がありました。そこにはまだ誰も葬られたことはありませんでした。42 その日はユダヤ人の準備の日であり、墓が近くにあったので、彼らはイエスをそこに葬りました。ヨセフは墓の入り口の前に大きな石を転がして置き、立ち去りました。

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = <sup>MT</sup>、マーク = <sup>M</sup>、ルカ = <sup>L</sup>、ヨハネ = <sup>J</sup>、使徒行伝 = <sup>A</sup>。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	ゴルゴタ近くの新しい園の墓
タイムライン	4月上旬 ( 39ヶ月目 )

イエスの生涯の文脈	第8段階：受難週
	E. 金曜日：苦悩と贖罪の日
	イエスは園の墓に埋葬される
タイトル：	イエスはヨセフの新しい園の墓に埋葬される

今日の朗読は、イエスの遺体が極めて急いで埋葬されたことを示しています。午後遅く、安息日の始まりだったため、作業は日没までに終わらせなければなりませんでした。通常、糊のような香料と香料を塗る前に、遺体は水で洗われます。しかし、園の墓には水源も時間もありませんでした。つまり、1週間前にベタニアでマリアが埋葬用の香料を塗ったことは、イエスの埋葬の準備でもあったのです。

ヨセフとニコデモは、十字架からイエスの遺体を降ろした後、近くの庭にあるヨセフの新しい墓へと運んだことでしょう。ヨセフは、十字架上で息を引き取るイエスの姿を見て、この埋葬計画を思いついたのでしょうか。墓は新しく、使われていなかったため、この計画はイエスにふさわしいものでした。イエスがエルサレムに入城した際に乗られた子ろばのように、この墓もイエス専用に使われるはずでした。

イエスの生涯における他のすべてのことと同様に、迅速な埋葬を可能にする状況は、主権的に事前に準備されていました。

二人は布と水で遺体をできる限りきれいに拭き取った後、砕いたアロエと没薬で作った埋葬用の糊をイエスの遺体に塗りつけた。この糊は75ポンド（約33キログラム）にもなり、厚く塗られた。これは害虫の侵入を防ぎ、亜麻布を遺体にしっかりと密着させ、墓の中で3日間放置された遺体の腐敗臭を和らげる心地よい香りを生み出すためだった。

数年後、遺体が完全に腐敗した後、骨は取り出され、蓋付きの大きな磁器の壺に納められ、復活まで永久に安置される。これが彼らの計画だった。

亜麻布は遺体の横に巻き付けられ、腕は脇に当てられ、布でしっかりと固定された。別の亜麻布で頭を覆い、最後にナプキンを頭の上に置いた。埋葬用の糊を塗り、長い亜麻布で包まれると、遺体はしっかりと固定され、空気との直接接触から保護された。

埋葬用の糊を塗った亜麻布で遺体を包むというこの処置は、復活を理解する上で重要でした。イエスがこの布から身を離すことは不可能だったでしょう。

イエスはラザロを復活させた際、ラザロが呼吸できるよう、人々に布を素早く取り外すよう指示しました。布を取り外すことで、遺体以外の人々の存在と活動の確固たる証拠が残るからです。これは、日曜日の朝、イエスの墓が空であることが発見された際に重要になります。埋葬布の状態は、彼の復活の決定的な証拠となるでしょう。

パウロは、キリスト教徒を異端者として迫害し、尋問し、拷問しながら彼らから受け継いだ福音の核心を次のように述べました。

「私があなたたちに伝えたのは、私自身も受けたことの中で最も重要なことです。キリストは聖書に書いてあるとおり、私たちの罪のために死んで葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおり、三日目に復活し、ケファと十二人に現れたことです。」コリント人への手紙ー 15:3-5

イエスの埋葬は福音の不可欠な部分です。それはイエスの死と復活の両方の証です。イザヤがイエスが金持ちの者たちによって、金持ちの墓に埋葬されると預言したのは驚くべきことです。金持ちのヨセフ自身は、ゴルゴタの近くの園で石を彫って墓を造らせた時、自分が実際に主の墓を準備しているとは知りませんでした。神のタイミングと方法は常に完璧です。

応用：

聖書に預言されているように、三位一体の神がイエスの地上での生活のあらゆる細部を完璧に計画し、準備し、実行したように、イエスは私たち一人一人が行う善行を計画し、準備しておられます。

神はすべてを事前に知っておられ、また、ご自身がもたらす最終的な結果もご存知です。イエスの生涯、そしてイエスが何ら影響を与えなかった埋葬の出来事においても、このことがはっきりと分かります。

イエスは、主権者である父なる神の計画と存在への信仰によって生きました。私たちも同じようにしなければなりません。

今日、あなたの周りですべてが崩壊しているように見えるとき、どのようにして神の計画を信頼する必要があるのでしょうか。

あなたは現在の状況において、どのように神に祈り、神の栄光を明らかにするために神に頼りますか？